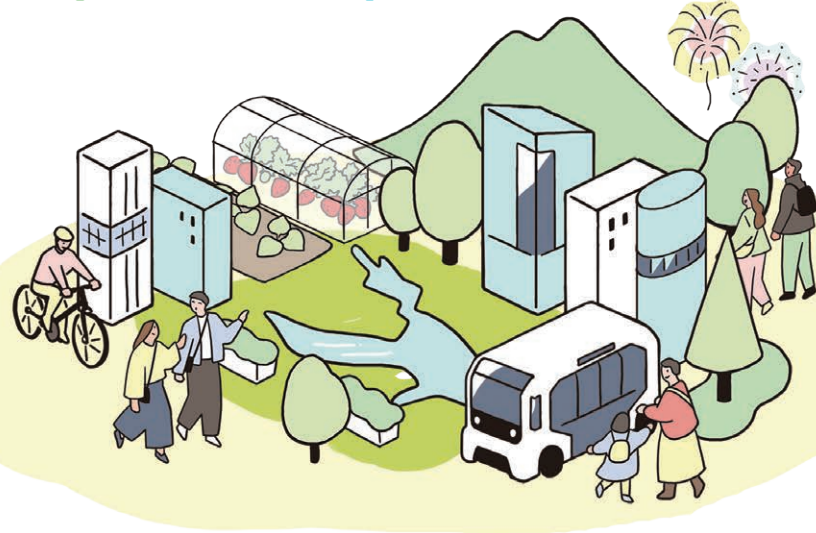


活力があり、 県民が日本一幸せな県

加速する人口減少や超高齢社会をはじめ、本県を取り巻く環境は一段と厳しさを増した激動の時代を迎えています。

時代の変化に的確に対応し、これからの茨城を更に切り拓いていくためには、本県の持つポテンシャルを最大限に活かし、茨城のあるべき姿を見据え、これまでの常識にとらわれず、新たな発想で果敢に挑戦していかなければなりません。

県民の皆様が、未来に希望を持つことができ、自由で新しい発想のもと、自身のかなえたい夢に向かって挑戦を続けられることが、県民が日本一幸せな県につながっていくものと考えます。



時代の潮流

「新しい茨城」づくりに向けて留意すべき重要な視点

2 不確実性かつ厳しさを増す
国際情勢と経済への対応

4 多様性を力に変える
社会の進展

6 持続可能な開発
目標(SDGs)の
達成に向けた取組の推進

1 加速する人口減少や
超高齢社会への対応

3 気候変動や
大規模災害リスクへの対応

5 飛躍的に進化する
デジタル技術が
もたらす社会変革

7 多様な価値観が存在する
社会における「幸福」の追求

茨城の ポテンシャルの 更なる発現・磨き上げ

科学技術や
産業の集積等を活用し、
将来を担う産業の創出へ

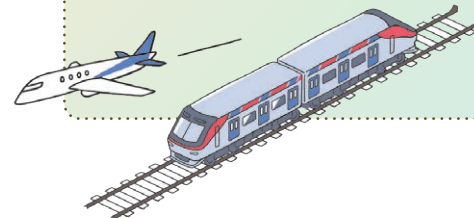


本県では、成長産業などへの戦略的な企業誘致により、若い世代に魅力ある雇用の創出が図られています。科学技術や産業の集積などの強みを活かし、宇宙ビジネスなど新産業の育成や「人材」の育成に力を入れ、将来を担う産業の創出に取り組むことが求められています。

広域交通
ネットワークの
整備による新たな
交流・広域連携の
推進



本県では、高速道路、鉄道、港湾・空港といった陸海空の広域交通ネットワークが整備されています。今後もこの強みを活かし、ビジネスや観光など様々な分野における人流や物流の拡大と活性化が求められています。



都市的な生活と
豊かな自然を活かした
茨城ならではの発展へ



東京圏に近接し、豊かな自然とゆとりある居住環境を備える本県は、高い所得水準と人口の社会増が定着しつつあります。今後も本県の恵まれた環境をアピールし、首都圏や全国の発展を牽引する地域を目指していくことが求められています。

全国をリードし、
世界へ羽ばたく
農林水産業へ



全国上位の農業産出額と漁獲量を誇る本県は「食材の宝庫」です。農産物の輸出拡大やトップブランド化などによる所得向上や、気候変動に左右されない安定的な生産に向けた取組を進めることで、儲かる農林水産業の実現が求められています。

地域資源の磨き上げ・
発信強化による
魅力あふれる茨城へ



本県がもつ自然、歴史、芸術、伝統文化や、観光地、アクティビティ、エンターテインメントなど、多様で魅力あふれる地域資源の磨き上げと発信により、地域の魅力が国内外から広く評価されることが求められています。

新しい豊かさ

1人当たり県民所得

第**3**位
3年連続
全国で

2020~2022年度
(2025年公表値)



県外企業立地件数

第**1**位
8年連続
全国で

- 工場立地面積 第1位 (8年間累計)
- 設備投資額 第1位 (8年間累計)



農産物の輸出額

8年間で
24倍

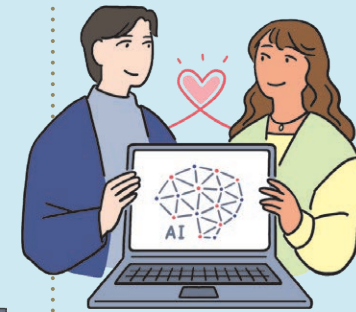
魅力ある 教育環境



- 都道府県立中高一貫教育校の設置
全国最多13校
- 特色ある高等学校の設置
(IT未来高等学校・
つくばサイエンス高等学校)

いばらき出会い
サポートセンターの
お見合い・交際件数
AIマッチングの導入(2021年度)により

約**3**倍
導入前の



新しい人財育成

外国人財の 確保・育成

- インド現地大学と「人材の育成・送付・
受入促進に関する協力覚書」を締結
- IBARAKIネイティブコミュニケーション
サポーター制度の開始



茨城8年間の変化

実績大図鑑

2018 → 2025

28市町村等との間で、
水道事業の経営一体化に向けた
基本協定を締結



新しい安心安全



救急搬送における
選定療養費の徴収

1年間で救急搬送件数4.2%減
うち入院を必要としない軽症等は14.3%減少
(2024年12月~2025年11月)

都道府県で
初

全国で
医学部入学
定員における
地域枠設置数

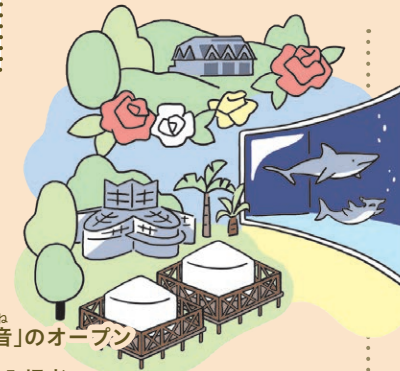
第**2**位

2025年度:70名
(本県調査)



県有施設の 魅力向上

- 日本初の泊まれる体験型植物園「林音」のオープン
- 「アクアワールド茨城県大洗水族館」入場者
歴代2位の127万人(2025年)
- 「いばらきフラワーパーク」入場者
リニューアル後4年連続20万人超



本県情報の
メディアへの掲載による
広告換算額

8年間で
4倍
206億円(2024年度)



茨城空港の旅客数 過去最多

約78万人(2024年度)



新しい夢・希望

基本理念に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の4つのチャレンジを推進するとともに、特に3つの取組を重点的に進めていきます。

基本理念

活力があり、県民が日本一幸せな県

チャレンジ I

新しい豊かさ

チャレンジ II

新しい安心安全

チャレンジ III

新しい人財育成

チャレンジ IV

新しい夢・希望

特に重点的に進める3つの取組

本県に他地域にはない
特長をつくるための
「差別化」

人口減少社会において国内外から多くの人や投資を惹きつけるには、本県ならではの魅力と価値を創出する「差別化」が極めて重要です。このため、常識にとらわれず新しい発想で工夫を重ね、本県独自の「差別化」に取り組みます。

本県の将来の発展を見据えた
「インフラへの投資」

人口減少社会を乗り越えるための活力を生みだし、持続可能な地域社会を実現するための基盤となるインフラの整備には、しっかりと投資していくことが必要です。このため、つくばエクスプレスの土浦延伸や茨城空港の機能強化、水戸保健医療圏の病院再編などの「インフラへの投資」を進めます。

「多様な人財が活躍できる
社会の実現」

人口減少社会においては、多様な人財がそれぞれの能力を活かして地域の発展に貢献できる社会づくりが不可欠です。このため、国籍や性別、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが能力と意欲に応じて活躍できる社会の実現に取り組みます。

政策・施策を展開するための4つの視点

県民・市町村・企業等との連携

挑戦できる環境づくり

高付加価値体質への転換

国内外から選ばれる茨城

誰一人取り残さない社会づくり

次のページから4つのチャレンジをご紹介します

チャレンジ

I 新しい豊かさ

力強い産業の創出とゆとりある暮らしを育み、新しい豊かさを目指します

1 質の高い雇用の創出

- 1 戦略的な企業誘致
- 2 新たな産業用地の確保及び企業立地の加速化
- 3 産業を支える人材の育成・確保



2 新産業育成と中小企業等の成長

- 1 新たな産業の創出・育成と特色ある産業集積づくり
- 2 活力ある中小企業・小規模事業者の育成



3 強い農林水産業

- 1 農林水産業の成長産業化と未来の担い手づくり
- 2 県食材の国内外への販路拡大



4 世界に飛躍する茨城

- 1 世界に広がるIBARAKIブランド
- 2 世界に挑戦するベンチャー企業の創出



5 自然環境の保全・再生

- 1 循環型社会の形成
- 2 湖沼の水質浄化と身近な自然環境の保全



これまでの成果

- 県外企業立地件数8年連続全国第1位、工場立地面積全国第1位(8年間累計)、設備投資額全国第1位(8年間累計)
- 農産物の輸出額が8年間で、2.4倍に増加
- 宇宙機器に特化した共同受注体制IBARAKIスペースサプライネットワークを発足
- 新しいもの製造過程で生じる未利用部分の大規模飼料化により、フードロス削減
- メロン「イバラキング」や梨「恵水」の1個1万円超での販売が実現

II 新しい安心安全

医療、福祉、治安、防災など
県民の命を守る生活基盤を築きます

6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉

- 1 地域における保健・医療・介護提供体制の充実
- 2 医療人材・福祉人材確保対策
- 3 精神保健対策・自殺対策
- 4 健康危機への対応力の強化



7 健康長寿日本一

- 1 人生百年時代を見据えた健康づくり
- 2 認知症対策の強化
- 3 がん対策



8 障害のある人も暮らしやすい社会

- 1 障害者の自立と社会参加の促進
- 2 障害者の就労機会の拡大



9 安心して暮らせる社会

- 1 地域の日常生活の維持確保とコミュニティ力の向上
- 2 安心な暮らしの確保
- 3 犯罪や交通事故の起きにくい社会づくり



10 災害・危機に強い県づくり

- 1 災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化
- 2 原子力安全対策の徹底
- 3 健康危機への対応力の強化



これまでの成果

- 都道府県単位で初めて、緊急性が認められない救急搬送者からの選定療養費の徴収を開始
- 総合的ながん対策により、75歳未満死亡率が8年間で大きく低下
- 最重度の障害がある方が入所する障害者支援施設「あすなろの郷」の再編整備が完了
- 28市町村等との間で、「水道事業の経営の一体化に関する基本協定」を締結
- 全ての県管理河川を対象とする「洪水浸水想定区域図」の作成を、当初計画から1年前倒しで完了

III 新しい人財育成

茨城の未来を創る「人財」を育て、
日本一子どもを産み育てやすい県を目指します

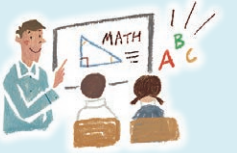
11 次世代を担う「人財」

- 1 「生きる力」をはぐくむ教育の推進
- 2 新しい時代に求められる能力の育成
- 3 地域力を高める「人財」育成



12 魅力ある教育環境

- 1 魅力と特色ある学校づくり
- 2 次世代を担う「人財」の育成と自立を支える社会づくり



13 日本一、子どもを産み育てやすい県

- 1 結婚・妊娠・出産の希望がかなう社会づくり
- 2 安心して子どもを育てられる社会づくり
- 3 児童虐待対策の推進と困難を抱える子どもへの支援



14 多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会

- 1 多様性を認め合い、一人ひとりが尊重される社会の実現
- 2 女性が輝く社会の実現
- 3 働きがいを実感できる環境の実現



15 外国「人財」に選ばれ、共に成長する秩序ある共生社会

- 1 外国「人財」が共に活躍できる就労環境の充実
- 2 外国「人財」が共に安心して生活できる環境の充実



これまでの成果

- 平日に学校外で、保護者などと体験的・探究的な活動をするラーケーション制度を導入
- 公立初のIT専科高校となるIT未来高校、県内初の科学技術科を有するつくばサイエンス高校を開校
- いばらき出会いサポートセンターにAIマッチングシステムを導入し、お見合い・交際件数が約3倍に増加
- ダイバーシティ社会実現のための取組を宣言した企業数が500件を突破
- 外国人からの相談に母語で対応するIBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター制度を創設

16 魅力発信No.1プロジェクト

- ① 「茨城の魅力」発信戦略
- ② 県民総「茨城大好き！」計画



17 ビジット茨城～新観光創生～

- ① 稼げる観光地域の創出
- ② インバウンド誘客の促進



18 若者が集い、「楽しさ」あふれる茨城

- ① 若者に魅力ある働く場づくり
- ② 若者を呼び込む茨城づくり
- ③ 生涯にわたる学びと心豊かにする文化・芸術
- ④ スポーツの振興と遊びのある生活スタイル



19 デジタルトランス

フォーメーション(DX)の推進

- ① AIをはじめとするデジタル技術による社会変革の促進
- ② スマート自治体の実現に向けた取組の推進



20 活力を生むインフラと

住み続けたいくなるまち

- ① 未来の交通ネットワークの整備
- ② 人にやさしい、魅力あるまちづくり



これまでの成果

- 本県情報のメディア掲載による広告換算額が8年間で4倍に増加
- 差別化と創意工夫による稼げる観光地域づくりに取り組み、観光消費額が3年連続で過去最高額を更新
- 県有施設の魅力向上に取り組み、若者に魅力あるコンテンツを造成
- 高度デジタル人材の育成を推進するため、産業技術短期大学を「情報テクノロジー大学校」として大学校化
- 2024年度、茨城空港の旅客数は過去最多の約78万人を達成

「挑戦する県庁」への変革

未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて

人口減少が加速度的に進み、環境が激変する中、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現のため、時代の変化に柔軟かつ確に対応し、前例踏襲や横並びの意識を打破し、失敗を恐れず、新たな施策に積極果敢に挑戦する県庁に変革します。

基本方針

「挑戦する県庁」への変革

基本姿勢

● 県民本位

「県民のためになっているか」を常に考え、政策を実行します。

● 積極果敢

横並び意識を打破し、失敗を恐れず積極果敢に挑戦します。

● 選択と集中

目的を見据えて選択と集中を徹底し、経営資源を最大限効果的に活用します。

上記の基本方針と基本姿勢のもと、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた施策展開を支える基盤として、「Ⅰ 挑戦できる体制づくり」「Ⅱ 未来志向の財政運営」の2つの取組を今後も財政運営の柱に各種施策を積極的に推進し、全職員が一丸となり、県庁の変革にチャレンジしていきます。

取組Ⅰ 挑戦できる体制づくり

政策1

「人財」育成と 実行力のある組織づくり

新たな発想で、固定観念にとらわれず、自ら変わる勇気を持って、挑戦することができる職員の育成や組織づくりを進めます。



政策2

スマート自治体の 実現に向けたDXの推進

「スマート自治体」の実現に向けて、県庁業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、職員が真に県民や県政発展のための必要な仕事に注力できるよう業務改革や人財の育成に取り組むとともに、県民サービスの充実を図ります。

政策3

働き方改革の推進

「いつでもどこでも」効率的に仕事に取り組み、職員が心身ともに健康で、ワーク・ライフ・バランスを確保しながら、意欲を持って、県民のために必要な仕事や現場に密着した仕事に注力できる環境づくりを進めます。

政策4

多様な主体と連携した 県政運営

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、企業・大学・NPO・市町村などの多様な主体との連携を強化し、「オール茨城」で挑戦します。

取組Ⅱ 未来志向の財政運営

政策1

戦略的な予算編成と 健全な財政構造の確立

将来世代の受益につながる事業に大胆に取り組むとともに、スクラップ・アンド・ビルドの徹底などにより限られた財源の有効活用を図り、本県が将来にわたって発展していくための健全な財政構造を確立します。



政策2

出資団体改革の推進

出資団体が効率的かつ効果的に運営され、その結果、地域の振興及び県民生活の向上を促進し、県民が更なる「豊かさ」を享受できるように出資団体改革を着実に推進します。また、推進にあたっては、出資団体等調査特別委員会や県有施設・県出資団体等調査特別委員会の提言等を踏まえ、改革工程表の進行管理等により、計画的に行います。

4つの
チャレンジで
描かれる

茨城の 将来像

4つのチャレンジに果敢に取り組んだ結果、豊かで経済力があり、安心安全につながる生活基盤が充実し、多様な「人財」が活躍している夢や希望にあふれる「茨城」が実現しています。



1

自動運転等の
交通DXの発達による
交通ネットワーク
が構築



2

日本人と外国人が
秩序を保って
共生する
地域社会の実現



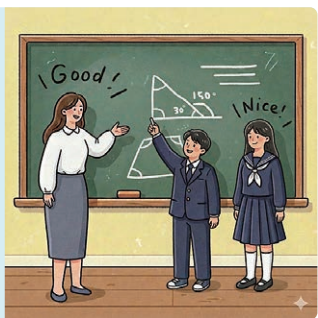
12

地域医療体制が充実し、
誰もが質の高い医療を
受けられる
社会が実現



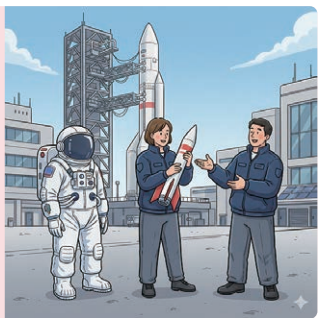
11

時代のニーズをとらえた
教育環境が整い、
グローバル社会で活躍
できる人財が育つ



10

世界をリードする
企業が
茨城県から育つ



9

つくばエクスプレスの
延伸により、
東京圏の活力が
県北地域にまで拡大



8

日本人と外国人が
共にいきいき動く
環境の実現



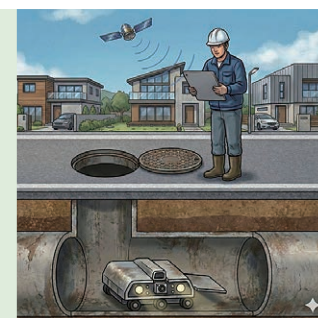
7

クリエイティブ
企業など
若者に魅力ある
働く場が集積



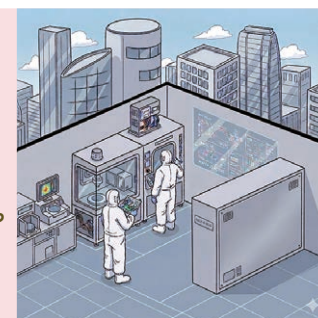
6

安全な上下水道の
確保に向けた
ICT活用による
点検・工事が実現



3

グローバル企業が
立地するほか、
本県産業の生産性向上や
競争力強化が実現



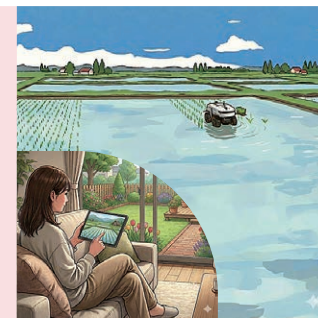
4

国内外と観光・
ビジネスや
地域の賑わいの
拠点となる茨城空港



5

スマート技術の導入や
規模拡大により、
「儲かる農林水産業」
が実現





いばらき 幸福度指標

県民が日本一幸せな県
の実現に向けて



県では、「県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられること」を幸せな状態と考えます。

そのような環境の整備・充実状況について、客観的な政府統計データなどにより定量的に把握するため、第2次茨城県総合計画から「いばらき幸福度指標」を導入し、全国との相対的な比較を行うことで、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた政策の方向性の検討に活かしてきました。

第3次茨城県総合計画においても引き続き、この指標により県民幸福度No.1を目指すとともに、指標を通して本県の豊かさや暮らしやすさを県民の皆様と共有していきます。

指標一覧

総合計画に掲げる4つのチャレンジごとに特色となるキーワードを抽出し、関連する43指標を設定しています。指標については今後の社会情勢の変化などを踏まえて、見直しを行っていきます。

I 新しい豊かさ

雇用

- 1 雇用者報酬(雇用者1人当たり)
- 2 正規雇用率
- 3 可処分所得(勤労者世帯)

産業振興

- 4 県民所得(県民1人当たり)
- 5 工場立地件数
- 6 労働生産性(1時間当たり)

農林水産業

- 7 農林水産業の付加価値創出額(県民1人当たり)

ビジネス創出

- 8 起業率

環境保全

- 9 CO2排出量(県民1人当たり)
- 10 一般廃棄物リサイクル率



II 新しい安心安全

地域医療・介護・保健

- 1 医師数(県民10万人当たり)
- 2 看護職員数(県民10万人当たり)
- 3 介護職員数(県民10万人当たり)
- 4 介護・看護を理由とした離職率
- 5 自殺者数(県民10万人当たり)

健康長寿

- 6 健康寿命

自立支援

- 7 障害者雇用率
- 8 相対的貧困率

犯罪防止・交通安全

- 9 刑法犯認知件数(県民千人当たり)
- 10 交通事故発生件数(県民10万人当たり)

防災対策

- 11 個別避難計画策定率
- 12 自然災害被害額(3年間平均・県民1人当たり)



III 新しい人財育成

教育振興

- 1 大学進学率
- 2 学力
- 3 不登校児童生徒率
- 4 子どもの運動能力

出産・育児

- 5 合計特殊出生率
- 6 放課後児童クラブ待機児童率

多様性・女性活躍・人権

- 7 パートナーシップ制度人口カバー率
- 8 男女の賃金格差
- 9 人権侵犯事件件数(県民1万人当たり)

働き方

- 10 所定外労働時間
- 11 男性の育児休業等制度利用率

国際交流・共生

- 12 留学生数(県民10万人当たり)
- 13 専門的・技術的な外国人財率



IV 新しい夢・希望

観光振興

- 1 外国人宿泊者数
- 2 国内旅行者数

若者に魅力ある雇用

- 3 本社機能流出・流入数
- 4 若者就職者超過率

学び・文化・スポーツ・遊び

- 5 教養・娯楽(サービス)支出額(3年間平均)
- 6 無形民俗文化財件数

新しい人の流れ

- 7 社会増加率

DX推進

- 8 デジタルガバメント率(市町村)

